

人道的地雷撤去支援

“カンボジア村落開発促進のための地雷調査と撤去”

第2四半期事業報告:2021年7-9月



**MAG (Mines Advisory Group)
CAMBODIA**

#9AB, Street 446, Sangkat Toul Tom Pong I,
Khan Chamkamorn, Phnom Penh, Cambodia

Tel: +855 (0)23 215 115

www.maginternational.org/Cambodia

写真: 機械オペレーターがリモコンで操縦している”中型地雷ウルフ”が、2021年9月にバタンバン州コッス・クラロー郡での地雷撤去をしている様子

1992年にカンボジアでの活動を開始して以来、MAGは、地雷で影響を受けたコミュニティと190万人以上の男女、女の子、男の子等の直接受益者のために、9,500万㎡の土地から、350,000発以上の危険物を撤去しました。カンボジアの人口の80%が、農村部に住み、経済的ショック、地雷埋設地域での貧困削減と開発イニシアティブの妨害をし続けている地雷汚染の存在に対して、非常に脆弱です。MAGの活動は、カンボジア王国政府の安全な生産的使用ができる状態に土地を戻し、2025年に地雷フリーを支援するイニシアティブをサポートするものです。

テラ・ルネッサンスからカンボジアの村落開発を促進する地雷調査と撤去プロジェクトへ12ヶ月間の資金提供をいただき、MAGは、機械操縦部隊(MOU:Mechanical Operations Unit)を展開し、バタンバン州での技術的な調査と撤去をしています。



目標

安全な土地の返還を通して、カンボジアの農村地域での貧困削減と社会経済的発展を維持し続けること

目的

コミュニティの生計の機会を最大化するために、地雷汚染が推定される地域の機械による調査と撤去を支援すること



事業の最新情報

2021年7月に提出した第一四半期報告書では、MAGはテラ・ルネッサンスへバタンバン州で活動していた”Digger-250”という機械を操縦する部隊に代わって、バタンバン州で活動する”中型地雷ウルフ”(Medium Mine Wolf: MMW)という機械を操縦する部隊への支援を要請しました。テラ・ルネッサンスは、MAGの要請を受け入れ、”Digger-250”操縦部隊から”中型地雷ウルフ”操縦部隊への支援を、2021年7月から開始しました。MAGはテラ・ルネッサンスからのご支援とこの変更への柔軟性に感謝いたします。

2021年7月14日、新型コロナウイルスの感染の影響があるにも関わらず、MAGは、バタンバン州コッス・クラロー郡チュナル・モアン区プレイ・トウン村にある地雷原の撤去活動を、午前中に次のテラ・ルネッサンスのスタッフが訪問する手配をしました。プロジェクト・マネージャーの江角泰プロジェクト・コーディネーターのクン・チャイ氏、プロジェクト・オフィサーのリュ・サリアップ氏、インターンの元浦菜摘氏が訪問しました。MAGは、テクニカル・フィールド・マネージャーのジョン・テルブランシェ氏が、安全管理、土地の歴史の詳細、脅威の分類と土地のマーキングについてなど、訪問中に説明をしました。テラ・ルネッサンスのスタッフたちは、バタンバン州コッス・クラロー郡での”中型地雷ウルフ”(Medium Mine Wolf: MMW)の撤去活動を訪問したことに満足するとともに視察できたことを喜んでいました。



プロジェクト成果の概要

活動	期待される成果合計	第二四半期達成された成果	達成された成果合計	達成率 (%)
Digger D-250と中型地雷ウルフを使用した機械操縦部隊が、調査と撤去活動をした土地の面積	380,000m ²	138,700m ²	375,185m ²	99%
撤去活動をした地域で見つかった地雷と爆発物の100%の安全な除去と破壊	N/A	対人地雷11発	対人地雷13発	N/A
直接&間接受益者の数(人数)	2,805	28名の直接受益者、459名の間接受益者	2,215名の直接&間接受益者	79%

プロジェクトの実施

第二四半期期間中に、MAGは、“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊を、下の地図で示されたバタンバン州コッス・クラロー郡プレイ・トウン村とサムロート郡オウ・タティエク村の2箇所の地雷原での撤去活動のために派遣しました。このチームは、第二四半期に目標としていた面積の131%にあたる138,700m²の汚染された土地を撤去するとともに、11発の対人地雷タイプ-72Aを見つけ、破壊しました。

第二四半期中に撤去した面積の重要な成果は、“中型地雷ウルフ”と呼ばれる機械の機械操縦部隊による活動によってテクニカルな調査を通して、安全を確認された土地の成果によるものが主になります。このチームは、テクニカルな調査を通して36,489m²の汚染された土地を減らし、この報告期間中の成果である102,211m²の面積の35%に当たる土地を撤去しました。

“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊は、2021年7-9月にかけて、プレイ・トウン村の地雷原(地雷原の番号:BS/CMASS/07141)での撤去活動を実施しました。しかしながら、不運なことに、“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊は、雨季の雨によって撤去活動をすることができず、地雷原への機械のアクセスが妨げられていました。MAGは、“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊を、2021年9月21日にオウ・タティエク村にあるもう1つの地雷原(地雷原番号:BS/CMAA/08849)へ再展開することにしました。“中型地雷ウルフ”機械操縦部隊は、数ヶ月後にアクセスが改善し、可能となれば、地雷原(地雷原番号:BS/CMAA/07141)の撤去作業を完了するために戻ってくる予定です。サムロート郡のオウ・タティエク村にある新しい地雷原は、6世帯28名(7名の女性、9名の男性、7名の男の子、5名の女の子)によって所有されています。この地雷原の撤去が完了すると、間接的に83世帯(105名の女性、108名の男性、50名の男の子、113名の女の子)、459名にさらに裨益することになります。これは第二四半期によって、全事業期間中の土地の受益者に対する目標の79%の達成に貢献することになります。



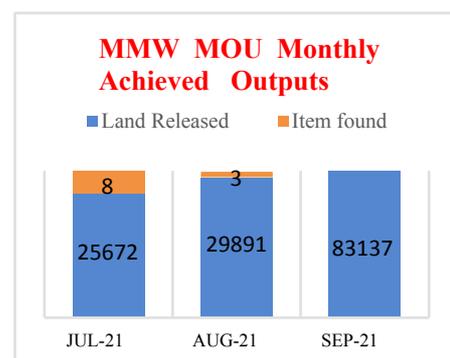
Released
138,700m² of mine-contaminated land



Destroyed **eleven** anti-personnel mines



Directly benefitted **28** women, men, boys and girls from **six** different families



¹ As per requested approval, MAG deployed only DIGGER-250 Mechanical Operations Unit in the first quarter and only Medium Mine Wolf Mechanical Operations Unit from second quarter till the end of the grant.

ハンテクニカル・サーベイ・チームによるMAGの地雷撤去前のインパクト評価によれば、安全になり返還された土地は、キャッサバやその他の作物の栽培のために100%使用されます。

追加情報

新型コロナウイルスは、2020年2月に発生が記録されて以来、カンボジアの全体の発展に大きな影響を与えています。国全体へのウイルスの拡大を止めるため、ロックダウンと移動制限が、カンボジア王国政府によって課せられています。2021年9月30日時点で、カンボジアでは112,854名の新型コロナウイルスの感染者が確認され、2,319名の死者が記録されています。

この事業を実施しているバタンバン州では、2021年7-9月の期間に、コロナに感染したスタッフが数名いました。地方政府の支援により、新型コロナウイルスに感染したスタッフは、政府の治療施設に輸送され、2021年9月中旬までに全員回復しました。直接、間接接触者は、現地政府によって、新型コロナウイルスの迅速テスト(抗原検査)を受け、MAGの宿舎で14日間の隔離をしました。これらの影響を受けたスタッフ(直接、間接接触者)の中には、テラ・ルネッサンスから支援を受けているスタッフのメンバーは含まれていませんでした。

MAGは、MAGのスタッフが安全な環境で活動でき、できるだけ新型コロナウイルスから守られるように、不測の事態に備えた計画を適用させながら、カンボジア政府の新型コロナウイルスに関する発表に注視していきます。2021年8月末までに全てのMAGのスタッフは、2回の予防接種を受けました。MAGは、将来に第3回目の新型コロナウイルスの接種を促進するため現地政府と活動を継続していきます。

プロジェクトの写真

下記の写真は、今四半期中にバタンバン州のコッス・クラロー郡とサムロート郡での”中型地雷ウルフ”と呼ばれる機械を操縦する部隊によって撮影された活動を示しています。

